



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

高知市立高等学校研修（高知商業高等学校）特集

概要

高知市立高等学校教育の現状と課題への理解を深めるとともに、高知市立高等学校の教職員としての自覚を高め、資質・指導力の向上を図ることを目的に、市立1校の強みを生かした研修体制で実施している。

『新たな視点での
キャリア教育』

方向性

『能動的な学習
の進化』

研修Ⅰ

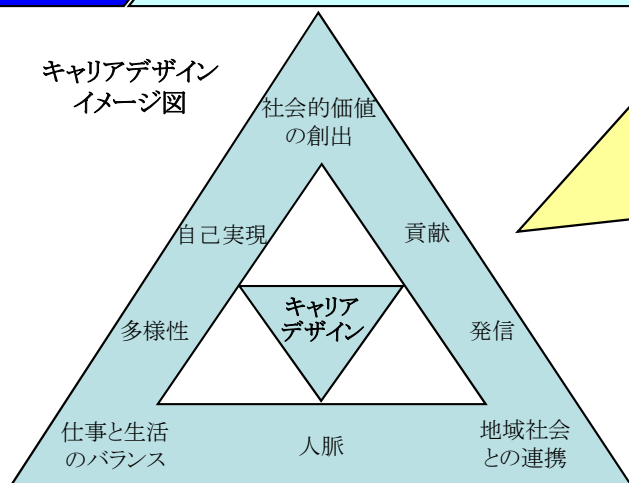
「一貫性のあるキャリア教育のあり方について」

～大学からでは遅い！工科大の事例を通して～

高知工科大学マネジメント学部 酒井良二 教育講師

全日制

キャリアデザイン
イメージ図



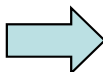
三角形の中心に達成目標を置き、各頂点に達成に向けて重要な事項を置く。さらに各辺に要素を置くとイメージしやすい。（さまざまなミッションに当てはまる）

キャリアを築き上げるためには、「社会的価値の創出＝環境が変化しても雇用されうる能力」などの頂点の他、「人脈づくり」や「多様性の受け入れ」なども重要になる。

《各項目の意味》

「働くことによる自己実現」「多様性の受け入れ」
「人脈づくり」「考えの発信による共有・共感」
「社会への貢献」

小・中・高・大と連続的に向上する諸能力
(学校教育全体での検証が必要)



社会から求められる人材
「生きる力」「社会人基礎力」

新たな視点でのキャリア教育

研修Ⅳ

「シナリオライティングを通じた自己理解と想像力の育成」

～個性溢れる自己推薦書の書ける生徒の育成をめざして～

(株)シナリオ・センター 小林幸恵 代表取締役社長

全日制

『シナリオを書くこと』の教育的価値 = 『想像力の育成』

シナリオ作成に必要な三つの目

虫の目 事物を詳細に見る
鳥の目 少し離れて俯瞰する
魚の目 流れを見る

自己理解・他者理解

- ・ シナリオはストーリーを描くものではなく、人間を描くもの
- ・ 「想像力」を具体的に教えられるのがシナリオ
- ・ 「想像力」は「人を想う心」
- ・ 「想像力」をはたらかせて「創造する」

『想像力』と『三つの目』を生徒にどう付けさせる？
推薦書を書くまでの各学年での段階的な指導は？

登場人物、場面設定が同じでも、それぞれの受講者が考えたストーリーは全く違い、とても個性的な発表が続くグループ討議となった。

爆笑や共感を伴って、自己理解・他者理解へのつながりを受講者自身が実感できる研修となった。



他にも、対象に応じたさまざまな研修を実施

研修Ⅱ

「プレゼン力をつける」～アレンジ版ビブリオバトルを通して～
高知市教育研究所 教職員研修班

定時制

ビブリオバトルとは
『本の紹介コミュニケーションゲーム』
「生きる力」を培う

新聞を使って、アレンジ版で実施

- ① 発表の準備(記事選定など)
- ② 班内で発表⇒チャンピオン決定
- ③ 班でブラッシュアップ⇒全体発表

プレゼンの機会をつくらう

生徒の興味のあるもの
↓
授業内容へと進化させよう

研修Ⅲ

「生徒を能動的にさせる学習方法について」
～明日からできる！アクティブラーニングによる授業実践～
(株)アクティブラーニング 羽根拓也 代表取締役社長

全定合同

生徒の能動性を喚起するために

- ① 導入の工夫をし、聴きたいと思わせる。
- ② 自己選択の有無を意識して取り入れる。
- ③ 進捗の手ごたえを感じるようにする。
- ④ 仲間と共有する時間をつくり進化させる。

アクティブラーニングの手法(代表的なもの)

- ・ワークショップ ・アイスブレイキング
 - ・ブレインストーミング ・PBL ・TBL
 - ・イメージマップ ・World Café など
- 実践上の効果や課題を共有

研修Ⅵ

「アクティブラーニングによる授業実践の総合的な捉え方」
高知大学総合教育センター 立川 明 准教授

全日制

研修Ⅶ

「企業経営から学ぶ、組織におけるリーダーのあり方」
高知工科大学マネジメント学部 酒井良二 教育講師

全日・中堅

リーダーシップの考え方

【双方向のリーダーシップ】

- ・『引くリーダーシップ』と『引かれるリーダーシップ』
双方向性が求められる。
- ・ これまでは『引くリーダーシップ』が注目されてきたが、
『引かれるリーダーシップ』がなければ組織は動かない。

【IQ ⇄ EQ】

Intelligence = 知性 はもちろん重要
しかし
Emotion = 感情・情緒面の重要性増



イソップ童話『北風と太陽』⇒ これからのリーダーに求められるのは？



その他の高等学校研修

- 研修Ⅴ「コーチングについて」～生徒の可能性を引き出す指導のあり方～ (定時制)
講師：太平洋学園高等学校 甲斐誉司 教諭
- 研修Ⅷ「教育課題に対するさまざまな対応について」(全日制・新任期限付き講師)
講師：高知市教育研究所 教職員研修班
- 研修Ⅸ「自己課題研修」(3日間・全定共通)

【受講者の感想】

- ・ より効果的な教育活動のためには、己の工夫だけでは限界があり、教師のマネジメント力が問われている。(Ⅰ)
- ・ 「生きる力」につながるよう、想像力をはたらかせて身の回りのものを活用し、多様な教材開発をしたい。(Ⅱ)
- ・ 生徒が能動的になるには、まず教師が能動的にならないといけない。生徒の姿は指導の結果である。(Ⅲ)
- ・ シナリオ作りは自分を深堀りすることであり、内面を見つめるための効果的な方法であるとよく実感できた。(Ⅳ)
- ・ 生徒とのやり取りの中で、生徒の視点や思いを考えながら、引き出す“問い”を発していきたいと感じた。(Ⅴ)

ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。

能動的な学習の進化